

現場社員が社員を審査?!

会社は数ヶ月前から、B担務（検査担当）の認定試験に、B担務見習い時、指導者となる箱担当の社員が審査するようになってきています。

以前は、助役や班長、Gリーダーの方々が審査していましたが、なぜ、箱担当の社員が行うようになったのでしょうか？

社員が社員を管理することにより、より一層会社に忠実な社員をつくるための一つの手段だと思います。また、箱担当のB担務は責任を持って検査業務を行っているにもかかわらず、車両係（C担務）がB担務に登用してふさわしいかの判断を箱担当の社員に押し付けるのは問題です。管理者が責任を持って行うべきです！！

箱担当の社員は指導者として、見習いがこれ以上必要かを判断するだけでいいのです。B担務認定に責任は持てません。

これを許すと現場社員同士で審査し、管理する職場になってしまいます。私達は箱担当の社員がB担務認定試験で審査することに反対です！！

職名と担務の逆転現象が拡大！！

今でも車両技術係の方でC担務に従事している方が多くいます。それなのに、なぜ車両係の人をB担務にさせるのでしょうか？

安い賃金で責任だけは重くなっています。会社に忠実な社員をつくるための見せしめ的なものです。これで努力したものが報われたというのでしょうか。会社は車両係にB担務をさせるのであれば、早く車両技術係にしてあげ、名実ともにB担務にすればいいのです。

私達 J R 東海 労大 交両 分会は職名と B・C 担務の逆転拡大となる担務任命には、反対であり、車両技術係から B 担務することを求めます！！